

大館の歴史散歩

郷土博物館の展示紹介⑱

綿入れの夜具 (夜衾)

よぶすま

衾が使われるようになりました。秋田県北部に分布している「ユブスマ」「ヨブスマ」というのがあります。ユブシマの名称については「鹿角方言考」によると木綿衾の略であるとしており、おそらく木綿(ユウ)が転化したもので、フスマは掛布団を意味すると思われます。

綿入れの夜具は衾ふすまともいい、寝具の一種です。現在の掛け布団のようなもので、平安朝時代に宮中で用いられたといわれています。当時のものは長さ八尺(約二百四十センチ)の四角形で、縫い袖も縁へりもないが、首のほうに紅い糸を太くよったものを二筋並べて、三針ほど縫いつけた程度のものでありました。これが次第に変化して袖や襟のついた着物の形をした夜

大館郷土博物館に展示しているものは、明治時代の終わりから大正時代の始めころに使用された着物の形をした夜衾です。娘が嫁ぐときに、親が、娘の末永い幸せを願って持たせたもので、嫁入り先の家紋を背に、裾には松竹梅と鶴亀を藍染めによって白く染め抜いた立派なものです。この夜衾の寸法は、ゆき丈九十七センチ、肩幅五十七センチ、袖幅四十七センチ、袖丈六十センチ、身丈百七十センチ、後幅百センチです。そして、かなり重いもので、掛布団として使用する就非常にかいよくです。



当時は、親からもらったこれらの立派な夜具や着物などは財産としてたんに大切に保管されていたようです。中には、子育てや家事に追われて一生腕を通すことがなかったという話も珍しくなかったようです。

大館郷土博物館

大館の方言講座

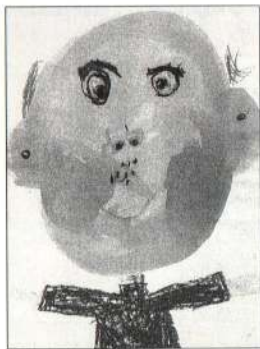
人に関することば

オドコワラシ：男の子。
オナガシ：女の子。
イタコ：盲目の巫女
ゴミソ・ゴムソ：占いや者。大館地方では普通の占いや者といひ、イタコと対になるといひ。

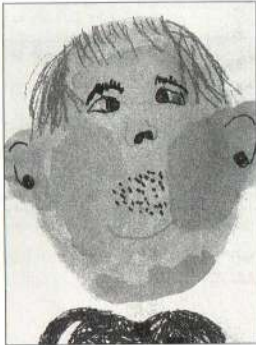
ガンドウ：泥棒・追いはぎ。
テツヤト・テガラド：宴会などの手伝い人。
ワカセ：若者・若衆。
ワシヤド：子供たち。

「大館市史」から

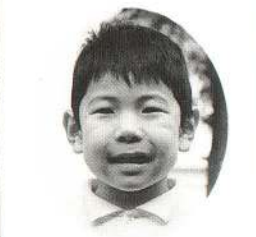
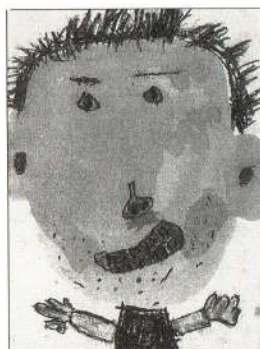
ちびっこギャラリィ おじいちゃん



村上 ともきくん
肩車をしてグルグル回してくれるんだ。気持ちいいよ。



伊藤 ともえちゃん
いつもお勉強ばかりしているから髪が薄くなったのかな。



米沢 ゆうたくん
畑で仕事するとき、ボクも手伝ってるよ。

神明幼稚園

広報 おおだてがヒント

クイズ

- ▽問題
- ①塩ビ系ごみを出すとき、燃やせるごみの袋を使えなくなるのはいつから?
 - ②樹海ライン沿いにあるちよつと変わったブランターを設置したのは?
 - ③第1回大館圏域産業祭の商工展の会場は?
 - ④市の公文書の一部を公開するのは、いつの文書から?
 - ⑤「パチッと!」の採用者へは何か贈られる?
- ▽応募方法
- はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①-②)を書いてご応募ください。また、日ごろ感じていることなども記入ください。

- ▽締め切り
- 10月24日(金)当日消印有効
※正解者の中から抽選で5人に、テレホンカード(秋田犬)を贈ります。
- ▽応募先
- 〒017大館市宇中城20番地
広報おおだてクイズ係
- ▽9月16日号の答え
- ①30倍 ②600円
 - ③大館七日市日まつり
 - ④二井田村 ⑤1・7台
- ▽8月1日号の当選者
- ・中村忠さん(菅田子)
 - ・工藤義男さん(桜町4区)
 - ・井上タカさん(大滝1区)
 - ・奈良延子さん(猿間)
 - ・岩沢カズ子さん(中道)
- ※応募総数49、全問正解数43